

東京農業大学稲花小学校

学校だより【2024年5月12日】第206号



「食と農」の博物館へ

前週の1組に続き、4月23日は5年2組が「食と農」の博物館を訪問しました。企画展「美しい土壌の世界」を見学するためです。様々な場所でできた土壌から作った“モノリス”（土壌断面標本）は壮観です。また、触っていい展示品を触って、その感触を確かめる子どもたちでした。1組は農芸化学科の犬伏和之教授に、2組は加藤拓教授に解説をしていただきました。土はただの土ではなく、環境であるという理解ができたことでしょう。

ハツカダイコンの種まき

4月26日(金)、1年生の稲花タイムは、校長が「たねのふしぎ」の授業をいたしました。まず、子どもたち一人一人に好きな野菜・果物を聞いた後、それらを育てるためには、球根で、株分けで、種でと様々な方法があることを説明しました。また、珍しい種を見せました。そして、ハツカダイコンの種まきをしました。一人ずつ土を入れたポットを渡し、種を3粒播きました。そして、連休前ということで、その日のうちにお家に持ち帰りました。

ポットの土はやや少なめなので、土を足すとよいと思います。そして、小さなポットですので、間引きをして、1本にして育てるのがよいでしょう。

もっとたくさん育てたい、あるいは、失敗しちゃったらどうしようの声にこたえて、一人3粒ずつの種も持ち帰ってもらいました。6月になれば、収穫ができると期待しています。

10連休でした

農大稲花小は、4月27日(土)から5月6日(月)まで、10連休でした。長いお休みは、新学期がはじまってから1か月の間、よくがんばってきた子どもたちが心身を休め、リフレッシュするのにちょうどよい時期ともいえます。このお休み、本校では特に宿題を課すことはしませんでした。当然ながら、毎日の学習習慣や学力は維持しつつ、それぞれにご家族とともに楽しく過ごしてもらおうことが大切だと考えました。どんな10日間となったでしょうか。

連休明けの朝

長い休み明け、学校に戻ることに心理的なハードルを感じる子どもについて多くの報道がありました。本校の連休明けとなった5月7日(火)、行き渋りとなった子どもがおらず、皆が元気に登校してきたことに、ほっとしました。また、10連休中、そして連休明けに向けて、体調を整えたり、心の準備を助けたりして子どもたちを学校へ送り出してくださった保護者の皆様にも感謝でした。

小学校の玄関で靴を履き替ながら、子どもたち同士が、連休中の話で盛り上がっていました。低学年の子どもたちはまだ、人の話を聞くでもなく、やや一方的に連休の話をしているだけです。

が、学年が進むにつれて、友だち同士で上手にキャッチボールしながら楽しく話をしている様子が見られます。きっと教室でも、担任の先生を囲んで、連休話で盛り上がったことでしょう。

野菜も育つ

農大稲花小の畑では、1年生はトマト、2年生はナス、3年生はエダマメを育てています。ぐんぐんと育っています。テラスでは2年生が、「畑の先生」湯浅さんの指導を受けながら、ツルナシインゲンマメの苗をそれぞれのポットに植えました。3学期に5年生が植えたジャガイモも、大きく育っています。

イネの種まき

5月10日(金)、1年生の稲花タイムでは、東京農業大学国際農業開発学科入江憲治教授が、イネの授業をしてくださいました。イネについてお話を聞いた後、テラスに出て土を入れたポットに、肥料を混ぜます。それから、催芽しておいていただいた種籾を手のひらに載せてもらって、それを土に播きました。

この授業では入江先生の研究室から、ミャンマーとケニアの留学生がサポートに来て、子どもたちに肥料や種籾を配るなどしてくれました。肥料や種籾を受け取った子どもたちはそれぞれ、thank you! あるいはthank you very much! とお礼を言うことができました。ミャンマーではありがとうをミンガラバーということを教えると、ミンガラバーと言ってみる子どももいて、楽しいひと時でもありました。

ペットボトル苗はある程度小学校で育てたあと、ご家庭で収穫まで観察していただくこととしています。

私立小学校へのご理解を

5月10日(金)、校長は東京私立初等学校協会令和6年度定期総会に出席いたしました。都内の私立小学校の校長や関係者が集まるものです。私立小学校はそれぞれの歴史、創立者の思いを守り、教育の理念をもち、質の高い教育を提供しています。一方で、公的な補助金などは十分とはいえないのが現状です。私立小学校の役割について、在校生の保護者や卒業生だけでなく、より多くの方々にご理解を頂くことが大切だと感じました。

ソラマメのさや剥き

5月10日(金)、3年生は1時間目にソラマメのさや剥きをしました。大きなさやの中には、白いふわふわのわたがあります。わたしはいわば、ソラマメのベッドです。また、よく見ると、珠柄というマメとさやをつなぐ場所もあるのです。

子どもたちが準備したソラマメは、その日の給食で提供されました。

毎日のお手伝いは、子どもたちにとって体験の宝庫です。お手伝いするより勉強を、というのは、実は間違っているかもしれません。ソラマメのさや剥きをはじめ、子どもたちにはどうぞ、どんどんと、お手伝いをさせてください。

学校説明会(第 2 回)は満席

今年度 2 回目となる学校説明会を、オンラインで開催いたしました。各部 450 組ずつの参加者として、5 月 10 日(金)夕方に 1 部、11 日(土)午前に 2 部と 3 部を行いました。各部とも満席となり、皆様に興味をもっていただいていることに感謝しています。生配信ですが、各部の内容は同じです。1 月に行った第 1 回説明会より、事前面接質問票の内容などについて詳しく説明いたしました。

東京農業大学稲花小学校
校長 夏 秋 啓 子